

## 調査報告書

- 1 とき：2013年11月15日
- 2 行先：守山区社会福祉協議会の「おでかけ安心バス」
- 3 参加者：田口一登
- 4 主な内容
  - ・ 買い物弱者対策として守山区社協が取り組んでいる「おでかけ安心バス」に乗車させていただきました。車は社協のデイサービス車。今日の午後の便には、瀬古学区と幸心住宅から高齢の女性の方がお二人乗車されました。二人とも一人暮らし。「以前は北区のスーパーまで歩いて買い物に行っていたけれど、重い荷物を持って帰るのが大変になった。この車でアピタまで連れて行ってくれるので助かるわ」、「宅配を頼んだけれど、商品がよくなかった。やっぱり目で見えないと」——「おでかけ安心バス」での買い物を楽しみにされています。
  - ・ 「おでかけ安心バス」の対象は、瀬古学区と二城学区在住の65歳以上で、一人での買い物が困難な方です。自宅からアピタ新守山店まで送迎します。登録者数は現在26人で、水曜日は1日平均3.4人、金曜日は6.6人の利用があるそうです。感心したのは、運転手さんも添乗員も店内での買い物介助も、ボランティアの方が担っていることです。今日も、高齢者の方が介助ボランティアさんと会話しながら、楽しそうに買い物されていました。孤立防止の効果もあるのです。
  - ・ このお出かけバスの利用料は無料です。「白タクにしないため」だそうです。それでは事業費はどのように賄っているのか。「アピタなど企業から協賛金をいただいたりしていますが、財源の確保に苦労しています」と区社協事務局長。曜日が限定されていることによる利用者の制限、他学区への拡大、利用者とボランティアの調整などを行うコーディネーターの確保なども課題だそうです。